

第4章 分野別に見た公共施設の現状

1 市民文化系施設

(1) 集会施設

① コミュニティセンター

コミュニティセンター（以下「コミセン」という。）は31箇所あり、最も古い中央地区コミセンは昭和47年に、最も新しい二田コミセンは平成20年に建築しました。中鯖石コミセンが平成25年度に建て替えを行っており、今後計画的に建て替えを行う予定です。

なお、全施設とも地元のコミュニティ振興協議会が指定管理者となっています。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約2億5千万円のコストが発生しています。このうち、中央地区コミセンが約1,700万円と最も高く、全体の約7%を占めています。

また、年間で約45万4千人が利用しており、このうち比角コミセンが約3万5千人と最も多く、全体の約8%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
中央地区コミセン 指	1,694	1972(S47)	第一中	21,561	4,168	12,837
比角コミセン 指	864	1979(S54)	第二中	35,522	4,165	3,092
大洲コミセン 指	859	1981(S56)	第三中	18,448	4,165	3,996
鯨波コミセン 指	771	1987(S62)	第三中	13,668	4,168	3,245
剣野コミセン 指	831	1996(H8)	第三中	25,009	4,168	6,446
米山コミセン 指	765	1986(S61)	第三中	10,250	4,556	3,803
上米山コミセン 指	838	1986(S61)	第三中	5,397	3,037	3,114
枇杷島コミセン 指	866	1979(S54)	鏡が沖中	28,899	4,168	2,883
半田コミセン 指	760	1983(S58)	鏡が沖中	26,864	4,165	3,263
西中通コミセン 指	775	1976(S51)	瑞穂中	27,001	4,165	3,281
中通コミセン 指	762	1982(S57)	瑞穂中	10,035	4,168	5,735
松波コミセン 指	761	1977(S52)	松浜中	19,313	4,168	4,009
荒浜コミセン 指	956	1993(H5)	松浜中	17,298	4,165	5,408
高浜コミセン 指	687	1984(S59)	松浜中	5,416	3,039	4,827
高田コミセン 指	764	1984(S59)	南中	17,344	4,165	4,516
上条コミセン 指	862	1974(S49)	南中	11,427	4,168	1,941
野田コミセン 指	768	1980(S55)	南中	13,239	4,165	2,692
別俣コミセン 指	709	1985(S60)	南中	7,318	3,039	2,971
鵜川コミセン 指	1,180	1978(S53)	南中	1,767	3,037	2,777
田尻コミセン 指	955	1978(S53)	東中	25,232	4,168	5,726
北鯖石コミセン 指	1,065	2000(H12)	東中	26,644	4,530	5,399
中鯖石コミセン 指	638	1973(S48)	第五中	14,855	4,165	1,155

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
南鯖石コミセン 指	669	1975(S50)	第五中	9,267	4,165	1,626
北条コミセン 指	738	1976(S51)	北条中	14,498	4,168	4,385
高柳コミセン 指	627	2006(H18)	高柳中	6,259	4,168	1,612
南部コミセン 指	921	1984(S59)	西山中	4,937	4,165	3,467
石地コミセン 指	1,117	1985(S60)	西山中	10,253	4,168	3,481
別山コミセン 指	944	1986(S61)	西山中	7,074	4,168	5,504
中川コミセン 指	973	2007(H19)	西山中	7,087	4,168	5,390
大田コミセン 指	340	1983(S58)	西山中	4,080	3,039	1,808
二田コミセン 指	921	2008(H20)	西山中	8,139	4,168	6,202
計	26,380			454,101	124,279	126,591

※中通コミセンの利用者数は、平成 23 年度からの改修工事の影響のため、平成 22 年度の数値。

= 用語の定義 =

• **竣工年**

複数棟ある施設の竣工年は、延床面積が最も大きい棟が竣工した年を掲載しました。

• **利用者数**

平成 24 年度に施設を利用した人数です。

• **維持管理費**

平成 24 年度に、市が負担した人件費、光熱水費、保守等委託料など施設の維持管理に係る経費及び指定管理料ですが、維持管理費に係る収入である使用料等の特定財源を引いた数値です。△表示は、維持管理経費より使用料などの収入が多い場合です。

• **減価償却費**

建物の取得に要した経費に、その後の修繕・改修に要した経費を足した金額を耐用年数で除した金額です。0円は、耐用年数を超えていて減価償却費が発生していない場合です。

【減価償却費の意味】

施設は年数の経過とともに老朽化が進み、いずれは更新が必要となります。減価償却費とは、施設の耐用年数に応じて資産価値の消耗額を各年度に配分するものですが、将来同じ整備費用で施設を更新することを前提とした場合、減価償却費の額だけ、更新費用の負担が発生したことを意味します。資産価値の消耗分としてコストが発生していること、さらに、懸念される将来の施設更新費用の負担が、資産価値の消耗とともに発生していることを認識する必要性から、減価償却費をコストとして計上しています。

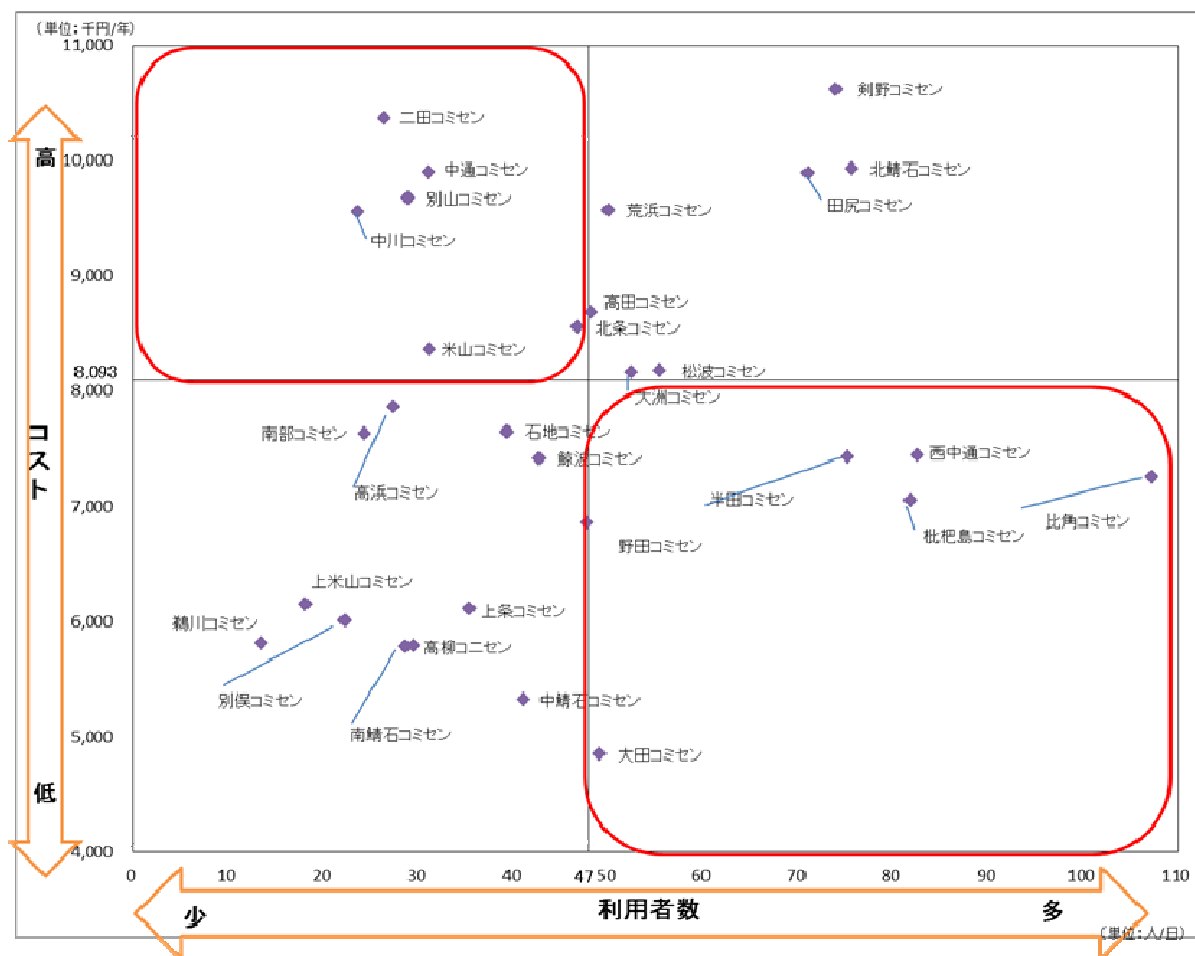
• **指定管理者施設**

公の施設の管理・運営を、法人や各種団体などに委任しているもの
基本情報の表中で、施設名称の後ろに指を表示しています。

• **利用度とコスト効率**

利用度は、年間利用者数を開館日数等で除した数値であり、コストは維持管理費と減価償却費の合計値です。

【利用度とコスト効率の分析】



※「中央地区コミセン」(1日あたり利用者74人、1年あたりコスト17,005千円)については、他の施設とグラフ上の位置が離れるため、記載を行っておりません。

【分析結果】

利用者数の全体平均は、47人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は8,093千円/年となっています。

このうち、利用者数が多くコストが低くなっているのは比角コミセン・枇杷島コミセン・半田コミセン・西中通コミセン・大田コミセンです。

一方、利用者数が少ないにもかかわらずコストが高くなっているのは中通コミセン・北条コミセン・米山コミセン・別山コミセン・中川コミセン・二田コミセンです。

②集落センター

高柳町地区の集落センターは19施設ありますが、そのうち100㎡以上ある施設は16箇所あり、最も古い磯之辺集落センターは昭和39年に、最も新しい栃ヶ原集落センターは平成9年に建築しました。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約1,100万円のコストが発生しています。このうち、栃ヶ原集落センターが184万円と最も高く、全体の約17%を占めています。

また、年間で1万5千人が利用しており、このうち岡田集落センターが3千人と最も多く、全体の約21%を占めています。

なお、全施設を平成25年10月に地元町内会に譲渡しました。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
岡田集落センター	308	1981(S56)	高柳中	3,151	73	1,591
岡野町集落センター	381	1986(S61)	高柳中	2,274	59	169
高尾集落センター	157	1990(H2)	高柳中	542	21	1,114
坪野集落センター	147	1983(S58)	高柳中	177	18	299
磯之辺集落センター	198	1964(S39)	高柳中	12	0	0
漆島集落センター	190	1989(H1)	高柳中	1,804	18	318
荻ノ島集落センター	184	1986(S61)	高柳中	1,440	17	248
門出集落センター	314	1987(S62)	高柳中	2,525	55	1,640
栃ヶ原集落センター	190	1997(H9)	高柳中	467	71	1,769
山中集落センター	163	1983(S58)	高柳中	529	18	731
塩沢集落センター	178	1985(S60)	高柳中	671	18	350
板畑集落センター	221	1983(S58)	高柳中	187	17	813
上石黒集落センター	185	1983(S58)	高柳中	432	58	846
下石黒集落センター	112	1986(S61)	高柳中	214	17	0
寄合集落センター	129	1992(H4)	高柳中	214	34	702
田代集落センター	161	1985(S60)	高柳中	571	17	0
計	3,218			15,210	511	10,590

③その他集会施設

その他の集会施設は10箇所あります。

喬柏園は昭和13年に建築し、市が保有する施設の中で最も古い建物であり、国の登録有形文化財となっています。なお、平成26年8月から改修工事を行い、平成27年7月に（仮称）市民活動センターとしてリニューアルオープン予定です。

また、最も新しい鶴川体験の里「ほたる」は平成13年に建築しました。なお、綾子舞会館及び田島活性化施設は指定管理となっており、高柳共同福祉施設は平成26年度から指定管理となる予定です。

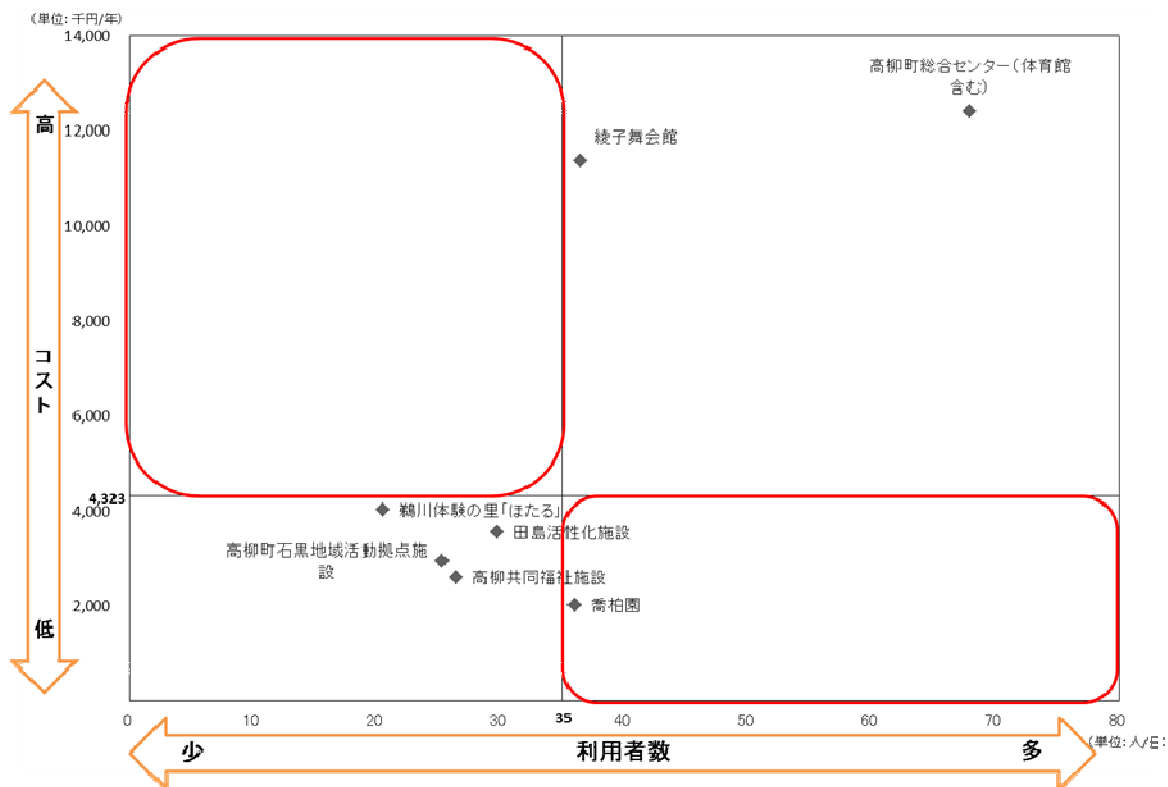
維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約4,200万円のコストが発生しています。このうち、高柳町総合センターが1,600万円と最も高く、全体の約38%を占めています。

また、年間で約2万7千人が利用しており、このうち綾子舞会館が約5,600人と最も多く、全体の約20%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
喬柏園	1,066	1938(S13)	第一中	5,141	681	1,340
中通公民館東部活動の場	159	1956(S31)	瑞穂中	528	0	0
松波会館(旧新田保育所)	333	1953(S28)	松浜中	—	0	0
綾子舞会館 国	373	1999(H11)	南中	5,648	5,690	5,667
鶴川体験の里「ほたる」	258	2001(H13)	南中	2,005	904	3,121
田島活性化施設 国	298	2000(H12)	第五中	5,184	0	3,552
高柳町総合センター	3,329	1975(S50)	高柳中	4,464	7,651	8,491
高柳共同福祉施設	430	1986(S61)	高柳中	3,958	695	1,907
高柳町石黒地域活動拠点施設	382	1974(S49)	高柳中	961	2,278	671
計	6,628			27,889	17,899	24,749

【利用度とコスト効率の分析】



【分析結果】

利用者数の全体平均は、35 人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は 4,323 千円/年となっています。

このうち、利用者数が多くコストが低くなっているのは喬柏園です。

一方、利用者数が平均より少ないにもかかわらずコストが平均より高くなっているものはありません。

(2) 文化施設

文化会館アルフォーレは、市民会館が平成 19 年の中越沖地震により被害を受け、平成 21 年に取り壊されたことから、震災復興のシンボルとして、平成 24 年 7 月にオープンしました。

維持管理費と減価償却費を合わせると 9 か月間で約 1 億 5,000 万円のコストが発生しています。また、9 か月間で約 7 万 8 千人が利用しています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
文化会館アルフォーレ <small>国</small>	7,678	2012(H24)	第一中	78,631	73,257	84,782

2 社会教育系施設

(1) 図書館

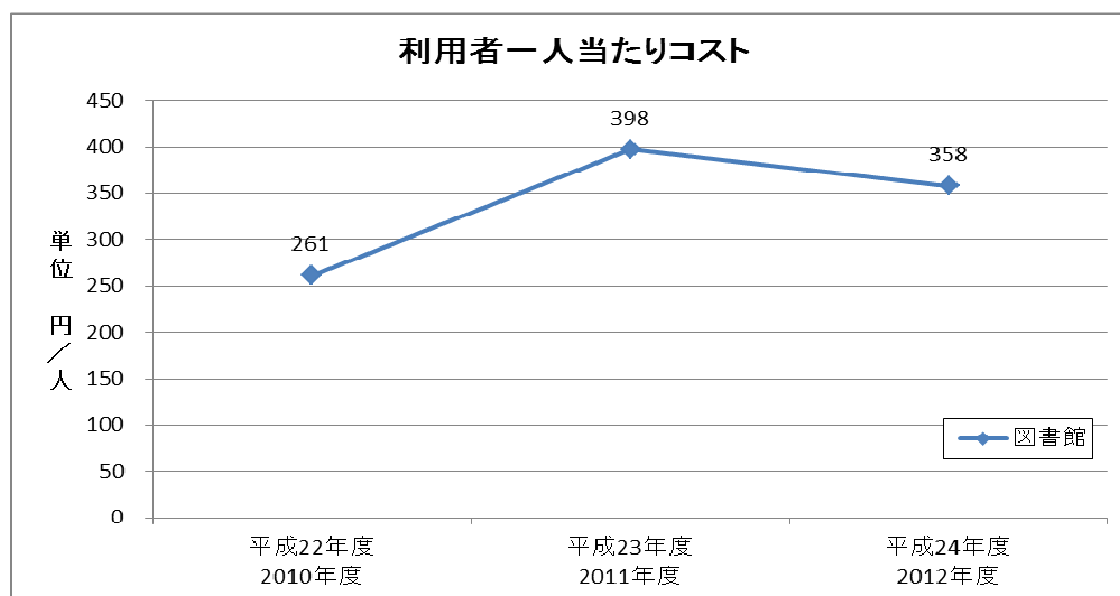
市立図書館は、明治 38 年 9 月に開館した歴史ある図書館です。二度にわたる移転を経て、平成 8 年から現在の愛称「ソフィアセンター」として親しまれています。

蔵書数は約 27 万点あり、年間で約 46 万人の利用者が利用しています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
市立図書館(ソフィアセンター)	4,754	1996(H8)	第一中	458,950	34,271	41,681

【利用者一人当たりコストの推移】



【分析結果】

年間の利用者数は平成 22 年度が 470,047 人でしたが、平成 23 年度は減少して 460,244 人、平成 24 年度は 458,950 人となっています。一方、利用者一人当たりコストは平成 22 年度が 261 円/人であったのに対し、平成 23 年度は 398 円/人、平成 24 年度は 358 円/人と増加しています。

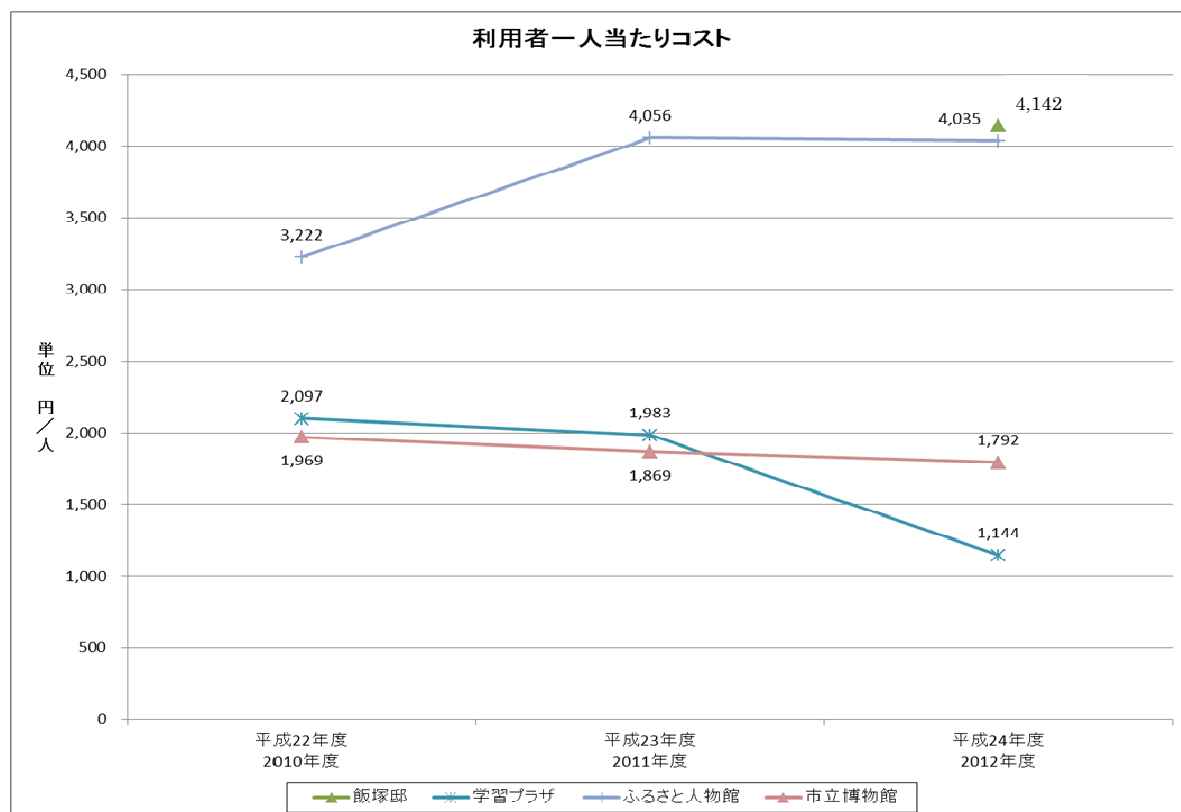
(2) 博物館等

市立博物館及び生涯学習等の施設は4箇所あり、最も古いふるさと人物館は昭和45年に開館した市立図書館を改修して、平成14年にリニューアルオープンしました。最も新しい学習プラザは平成13年に建築しました。維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約2億2,000万円のコストが発生しています。このうち、市立博物館が約1億1,700万円と最も高く、全体の約53%を占めています。また、年間で約10万4千人が利用しており、このうち市立博物館が約4万8千人と最も多く、全体の約47%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持管理費 (千円)	減価償却費 (千円)
学習プラザ(市民プラザ)	2,502	2001(H13)	第一中	45,072	33,387	18,156
ふるさと人物館 画	1,678	1970(S45)	第一中	4,911	19,613	8,704
市立博物館 画	4,127	1986(S61)	第三中	48,602	79,765	37,496
飯塚邸 画	1,265	1994(H6)	南中	5,699	9,230	14,377
計	9,572			104,284	141,995	78,733

【利用者一人当たりコストの推移】



※飯塚邸は、平成23年度まで改修工事のため休館していました。

【分析結果】

利用者一人当たりコストが増加傾向にあるのは、ふるさと人物館です。一方、利用者一人当たりコストが減少傾向にあるのは、市立博物館及び学習プラザです。

3 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) スポーツ施設

①体育館等

屋内体育施設は5箇所あり、最も古い海岸公園スポーツハウスは昭和48年に、最も新しい総合体育館は平成3年に建築しました。北園体育館を除く、全ての施設が一括して指定管理となっています。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約2億700万円のコストが発生しています。うち、総合体育館が1億3,500万円と最も高く、全体の約65%を占めています。

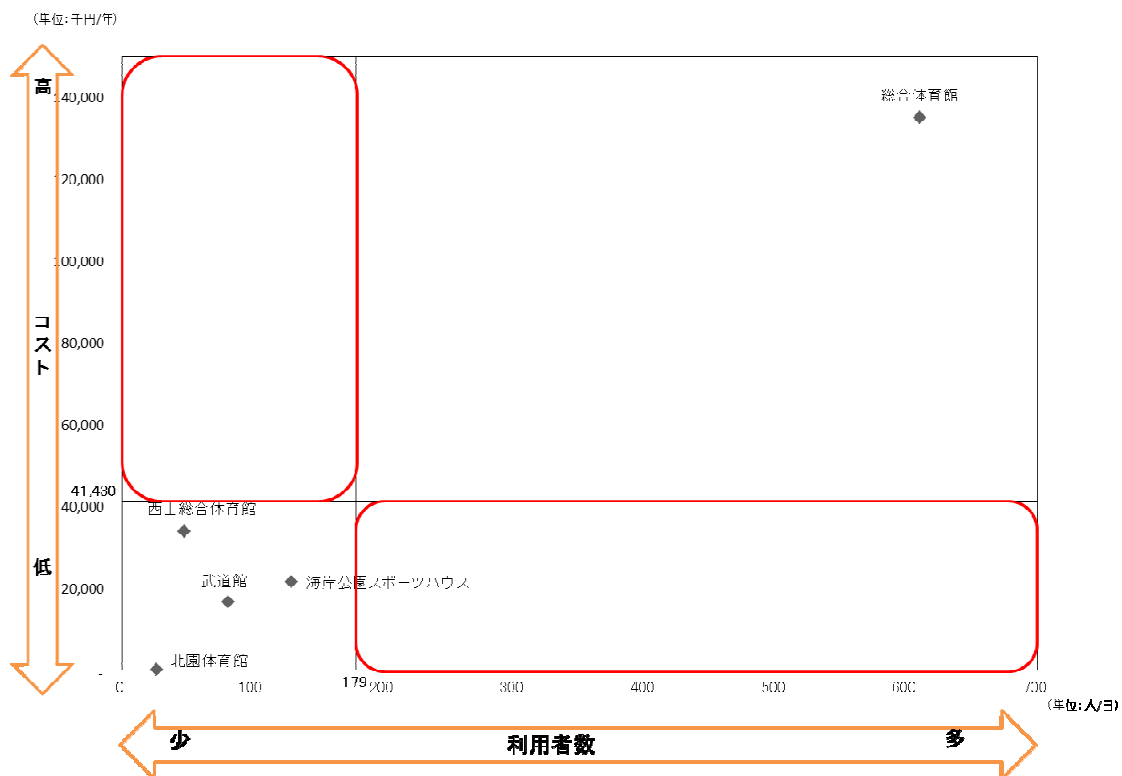
また、年間で30万1千人が利用しており、このうち総合体育館が21万3千人と最も多く、全体の約70%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
海岸公園スポーツハウス ㊦	1,939	1973(S48)	第一中	40,022	19,300	2,205
北園体育館	943	1976(S51)	第一中	9,040	100	0
武道館 ㊦	1,951	1980(S55)	第一中	25,132	☆	16,704
総合体育館 ㊦	9,702	1991(H3)	鏡が沖中	213,978	80,600	54,402
西山総合体育館 ㊦	3,386	1983(S58)	西山中	13,557	20,000	13,839
計	17,921			301,729	120,000	87,150

☆は、一括して指定管理料としてスポーツハウスに含む。

【利用度とコスト効率の分析】



【分析結果】

利用者数の全体平均は、179 人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は 41,430 千円/年となっています。このうち、利用者数が平均より多くコストが平均より低くなっているもの、および利用者数が平均より少ないにもかかわらずコストが平均より高くなっているものはありません。

②競技場・野球場

屋外施設は4箇所あり、最も古い陸上競技場は昭和55年に、最も新しい西山野球場は昭和62年に建築しました。全ての施設が一括して指定管理になっています。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約5,800万円のコストが発生しています。

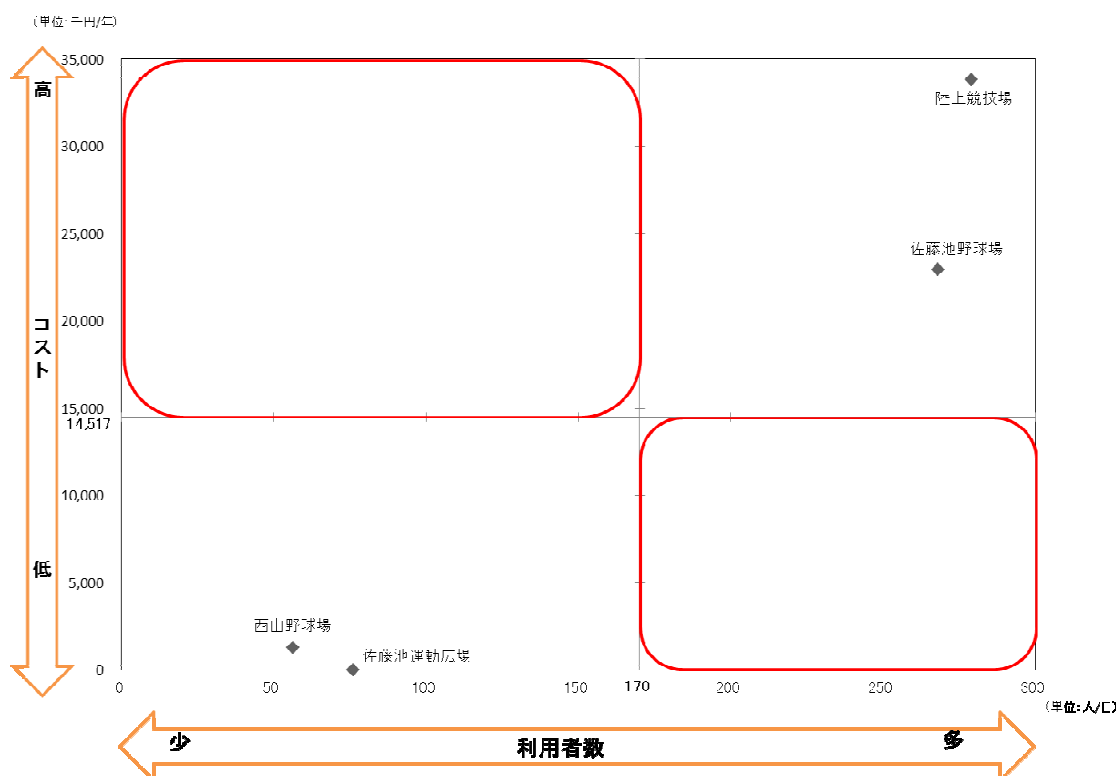
また、年間で約10万8千人が利用しており、このうち陸上競技場が約6万8千人と最も多く、全体の約63%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
陸上競技場 掴	786	1980(S55)	第一中	68,058	22,200	11,643
佐藤池運動広場 掴	149	1982(S57)	東中	7,684	☆	0
佐藤池野球場 掴	3,820	1986(S61)	東中	28,802	☆	22,921
西山野球場 掴	154	1987(S62)	西山中	3,706	☆	1,305
計	4,909			108,250	22,200	35,869

☆は、一括して指定管理しているため、陸上競技場を含む。

【利用度とコスト効率の分析】



【分析結果】

利用者数の全体平均は、170人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は14,517千円/年となっています。このうち、利用者数が平均より多くコストが平均より低くなっているものはありません。また、利用者数が平均より少ないにもかかわらずコストが平均より高くなっているものはありません。

(2) レクリエーション施設・観光施設

観光施設は18箇所あり、最も古い米山山荘は昭和51年に、最も新しいマリンスポーツ交流センター及び柏崎港観光交流センターは平成19年に建築しました。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約1億9,700万円のコストが発生しています。このうち、農山村滞在型交流観光農村宿泊休養施設(じょんのび村)が約4,500万円と最も高く、全体の約23%を占めています。

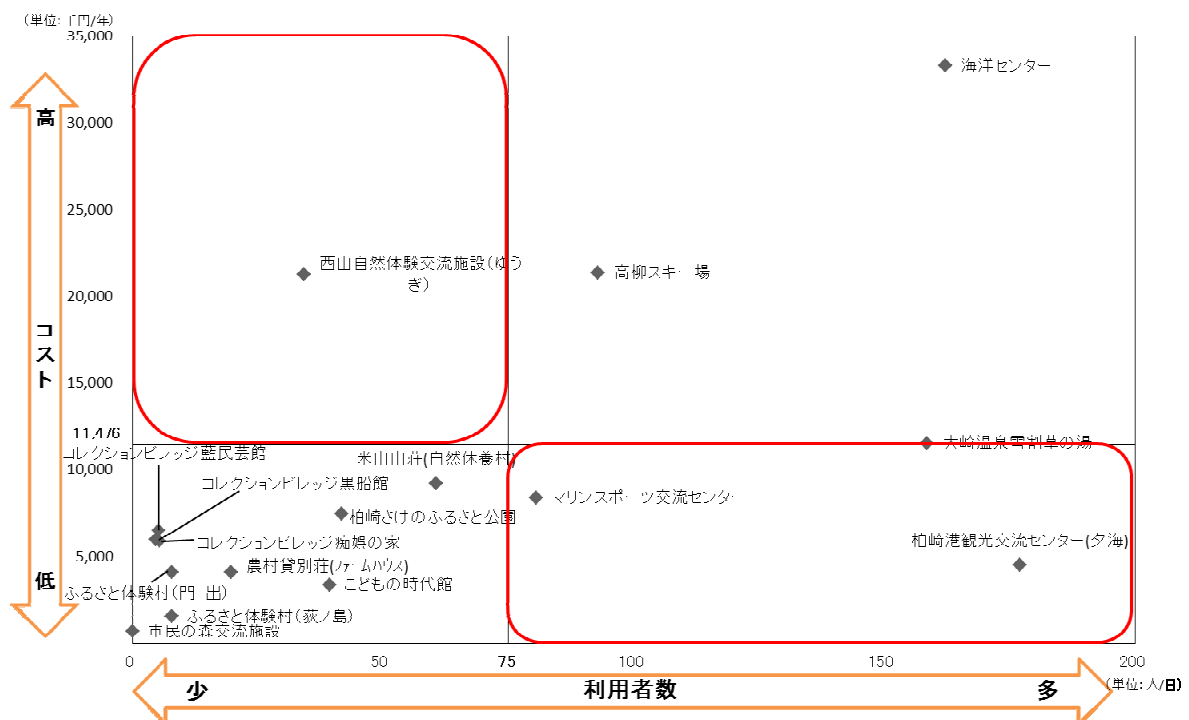
また、年間で約32万6千人が利用しており、このうち農山村滞在型交流観光農村宿泊休養施設(じょんのび村)が約12万6千人と最も多く、全体の約39%を占めています。

なお、平成25年4月1日からコレクションビレッジ3館のうち「痴娯の家」は指定管理者施設から市の直営となり、月湯女施設は老朽化等により休止しています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
海洋センター 捐	2,949	1997(H9)	第一中	55,813	0	33,295
マリンスポーツ交流センター	150	2007(H19)	第一中	5,232	7,258	1,170
米山山荘 捐	1,418	1976(S51)	第三中	7,729	2,728	6,500
こどもの時代館 捐	751	1978(S53)	第三中	9,734	0	3,381
コレクションビレッジ痴娯の家 捐	534	1995(H7)	第三中	1,382	923	4,957
コレクションビレッジ黒船館 捐	525	1995(H7)	第三中	1,176	923	5,058
コレクションビレッジ藍民芸館 捐	536	1995(H7)	第三中	1,338	924	5,612
柏崎さけのふるさと公園 捐	490	2001(H13)	第三中	11,997	3,799	3,671
柏崎港観光交流センター(夕海)	403	2007(H19)	第三中	21,223	1,436	3,102
市民の森交流施設	123	1989(H1)	南中	0	0	702
農山村滞在型交流観光農村宿泊休養施設(じょんのび村) 捐	3,521	1994(H6)	高柳中	126,600	1,231	44,483
農村貸別荘(ファームハウス) 捐	470	1993(H5)	高柳中	2,961	0	4,087
ふるさと体験村(門出) 捐	488	1992(H4)	高柳中	1,362	0	4,104
ふるさと体験村(荻ノ島) 捐	254	1998(H10)	高柳中	1,052	0	1,568
高柳スキー場 捐	512	2003(H15)	高柳中	7,708	18,760	2,604
月湯女施設 捐	848	1978(S53)	高柳中	9,814	0	2,471
西山自然体験交流施設(ゆうぎ) 捐	2,245	2005(H17)	西山中	11,191	8,719	12,558
大崎温泉雪割草の湯 捐	594	2006(H18)	西山中	49,749	3,675	7,857
計	16,811			326,061	50,376	147,180

【利用度とコスト効率の分析】



※月湯女施設については、現在使用していないため、分析していません。

また、「農山村滞在型交流観光農村宿泊休養施設(じよんのび村)」(1日あたり利用者376人、1年あたりコスト45,714千円)については、他の施設とグラフ上の位置が離れるため、記載を行っていません。

【分析結果】

利用者数の全体平均は、75人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は11,476千円/年となっています。

このうち、利用者数が多くコストが低くなっているのは、マリンスポーツ交流センター・柏崎港観光交流センター(夕海)・大崎温泉雪割草の湯です。

一方、利用者数が少ないにもかかわらずコストが高くなっているのは西山自然体験交流施設(ゆうぎ)です。

4 産業系施設

産業の振興と市民生活の向上に寄与するための施設は10箇所あり、最も古い番神漁村センターは昭和54年に、最も新しい西山農産物等直売・直飲施設は平成17年に建築しました。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約1億9,700万円のコストが発生しています。このうち、産業文化会館が約6,400万円と最も高く、全体の約32%を占めています。

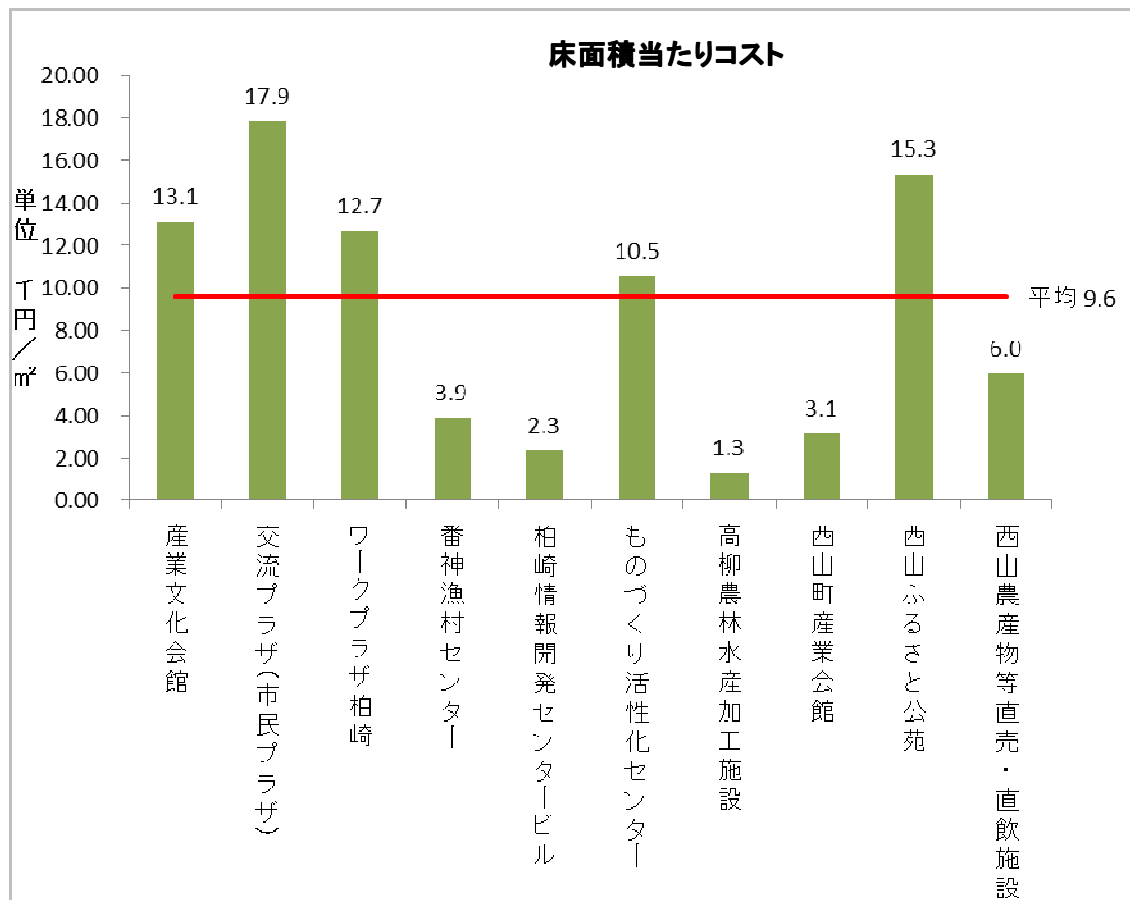
また、年間で約32万人が利用しており、このうちワークプラザ柏崎が約10万3千人と最も多く、全体の約32%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
産業文化会館 ㊦	4,889	1981(S56)	第一中	100,264	37,339	26,737
交流プラザ(市民プラザ)	2,032	2001(H13)	第一中	52,899	19,872	16,404
ワークプラザ柏崎 ㊦	1,776	1993(H5)	第二中	103,749	10,746	11,791
番神漁村センター ㊦	487	1979(S54)	第三中	1,429	0	1,891
柏崎情報開発センタービル	6,587	1983(S58)	第三中	—	0	15,358
ものづくり活性化センター	758	1997(H9)	東中	2,280	6,298	1,690
高柳農林水産加工施設	263	1989(H1)	高柳中	217	346	0
西山町産業会館	718	1995(H7)	西山中	22,320	△934	3,184
西山ふるさと公苑	3,008	1997(H9)	西山中	37,763	24,835	21,315
西山農産物等直売・直飲施設	156	2005(H17)	西山中	—	0	953
計	20,674			320,921	98,502	99,323

※西山町産業会館の維持管理費の△表示は、使用料収入があることによります。

【床面積当たりコストの分析】



【分析結果】

床面積当たりコストの10施設平均値は9.6千円/m²であり、最も高い施設は交流プラザ(市民プラザ)で17.9千円/m²であり、最も低い施設は高柳農林水産加工施設で1.3千円/m²となっています。

5 学校教育系施設

(1) 小中学校

①小学校

小学校は20校あり、最も古い荒浜小学校は昭和41年に、最も新しい枇杷島小学校は平成23年に建築しました。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約4億9,600万円のコストが発生しています。このうち、田尻小学校が約5,100万円と最も高く、全体の約10%を占めています。

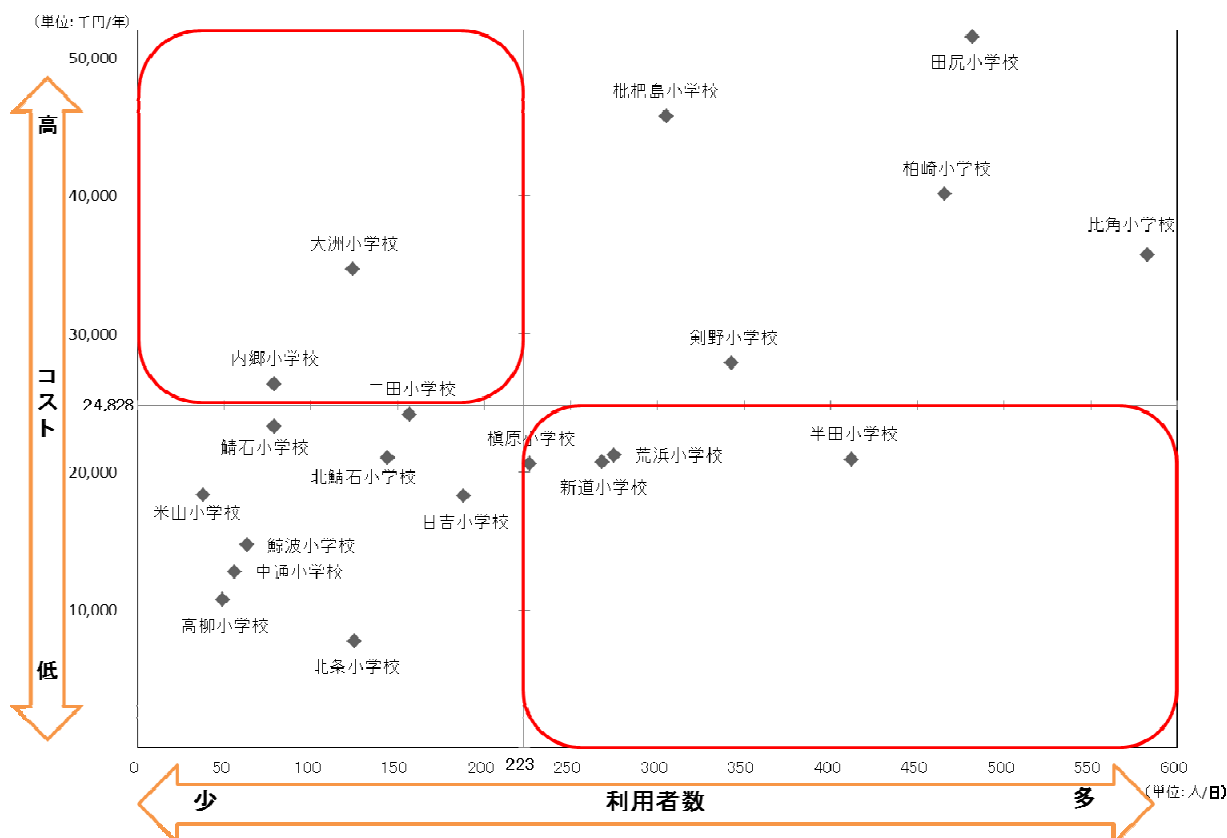
また、年間で約90万5千人が利用しており、このうち比角小学校が約11万8千人と最も多く、全体の約13%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
柏崎小学校	8,712	1974(S49)	第一中	94,598	8,173	31,957
比角小学校	7,787	1987(S62)	第二中	118,349	6,520	29,229
大洲小学校	5,377	1993(H5)	第三中	25,172	4,181	30,529
剣野小学校	4,849	1992(H4)	第三中	69,629	4,822	23,080
鯨波小学校	3,007	1984(S59)	第三中	12,789	3,483	11,196
米山小学校	2,551	1967(S42)	第三中	7,714	4,470	13,866
枇杷島小学校	6,593	2011(H23)	鏡が沖中	61,915	6,418	39,345
半田小学校	3,567	1978(S53)	鏡が沖中	83,636	9,043	11,847
槇原小学校	3,452	1987(S62)	瑞穂中	45,878	4,039	16,576
日吉小学校	3,811	1985(S60)	瑞穂中	38,164	3,780	14,482
中通小学校	2,701	1980(S55)	瑞穂中	11,368	3,375	9,396
荒浜小学校	4,401	1966(S41)	松浜中	55,825	4,656	16,572
新道小学校	4,965	1982(S57)	南中	54,404	4,325	16,397
田尻小学校	7,972	2006(H18)	東中	97,846	7,246	44,306
北鯖石小学校	3,351	1990(H2)	東中	29,232	3,586	17,460
鯖石小学校	3,370	1992(H4)	第五中	16,037	4,646	18,630
北条小学校	3,868	1968(S43)	北条中	25,375	4,422	3,317
高柳小学校	3,795	1973(S48)	高柳中	9,947	6,102	4,608
二田小学校	4,649	1991(H3)	西山中	31,871	4,168	19,962
内郷小学校	4,455	1994(H6)	西山中	16,037	3,869	22,475
計	93,233			905,786	101,324	395,230

※利用者数は、児童数に登校した日数を掛けた数です。

【利用度とコスト効率の分析】



【分析結果】

利用者数の全体平均は、223 人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は 24,828 千円/年となっています。

このうち、利用者数が多くコストが低くなっているのは半田小学校・榎原小学校・荒浜小学校・新道小学校です。

一方、利用者数が少ないにもかかわらずコストが高くなっているのは大洲小学校・内郷小学校です。

②中学校

中学校は12校あり、最も古い東中学校は昭和50年に、最も新しい第二中学校は平成19年に建築しました。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約3億8,200万円のコストが発生しています。このうち、第一中学校が約4,400万円と最も高く、全体の約12%を占めています。

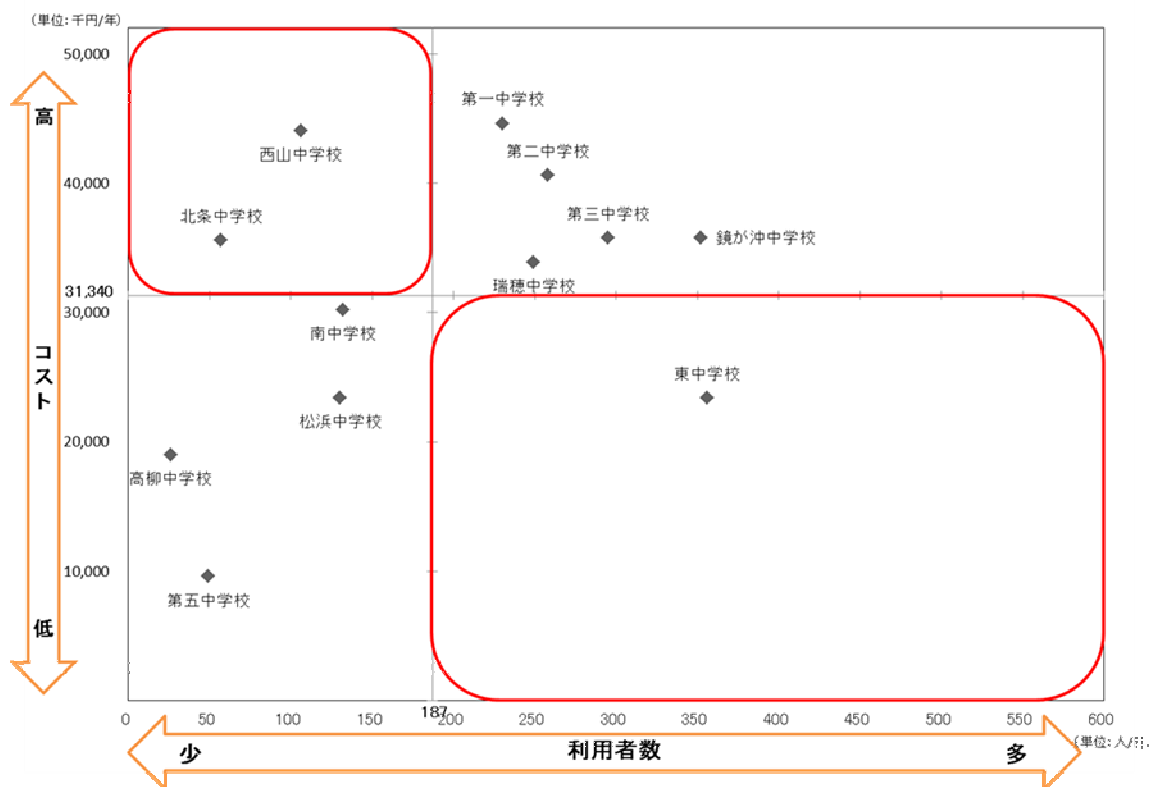
また、年間で約45万3千人が利用しており、このうち東中学校が約7万2千人と最も多く、全体の約16%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
第一中学校	7,530	1993(H5)	第一中	45,690	5,412	39,223
第二中学校	6,399	2007(H19)	第二中	52,374	6,434	34,201
第三中学校	6,608	1990(H2)	第三中	59,885	6,517	29,267
鏡が沖中学校	6,401	1990(H2)	鏡が沖中	71,456	5,609	30,179
瑞穂中学校	5,000	1995(H7)	瑞穂中	50,547	4,413	29,498
松浜中学校	5,508	1984(S59)	松浜中	26,390	4,275	19,162
南中学校	5,510	1991(H3)	南中	26,796	4,556	25,659
東中学校	4,682	1975(S50)	東中	72,268	7,397	16,017
第五中学校(旧南鯖石小)	3,242	1988(S63)	第五中	9,947	1,873	13,943
北条中学校	4,050	1998(H10)	北条中	11,571	4,972	30,637
高柳中学校	3,735	1989(H1)	高柳中	5,278	5,882	13,106
西山中学校	8,219	1994(H6)	西山中	21,518	5,691	38,371
計	66,884			453,720	63,031	319,263

※利用者数は、生徒数に登校した日数を掛けた数です。

【利用度とコスト効率の分析】



【分析結果】

利用者数の全体平均は、187 人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は 31,340 千円/年となっています。

このうち、利用者数が多くコストが低くなっているのは東中学校です。

一方、利用者数が少ないにもかかわらずコストが高くなっているのは北条中学校・西山中学校です。

(2) その他教育施設

学校給食共同調理場は9箇所あり、最も古い高柳地区学校給食共同調理場は昭和48年に、最も新しい中央地区学校給食共同調理場は平成22年に建築しました。

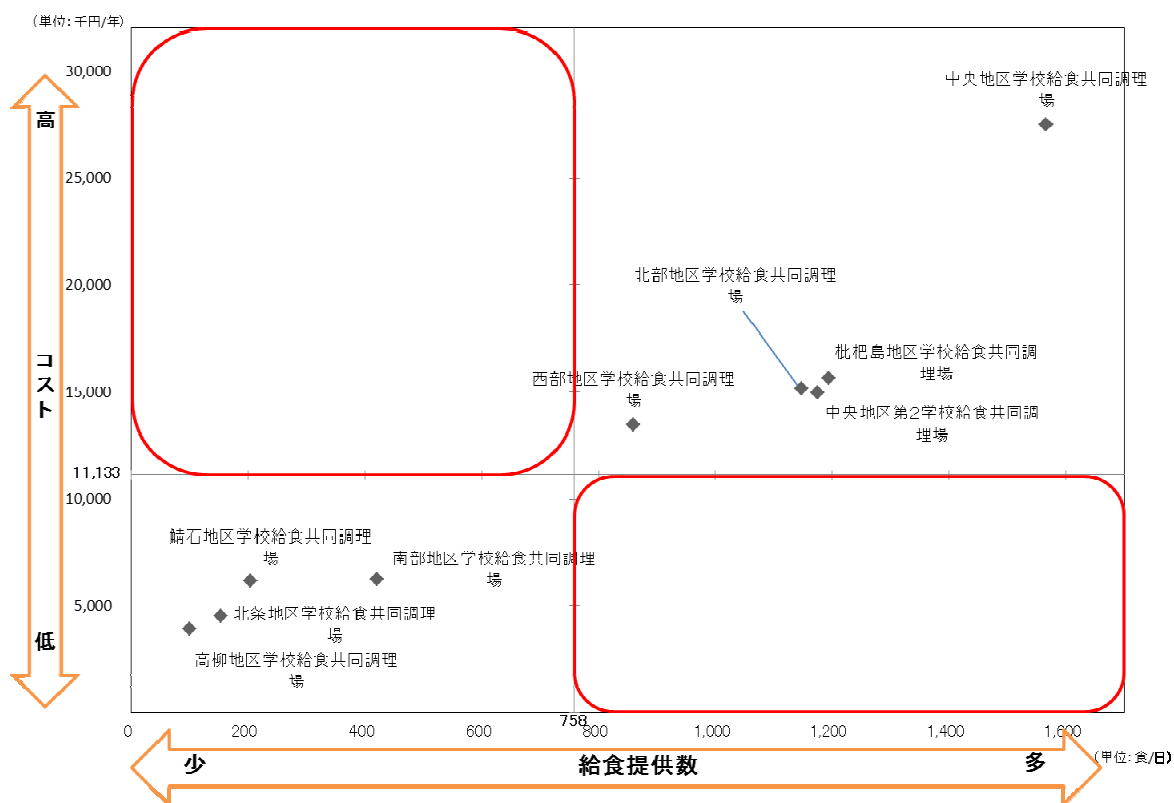
維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約1億700万円のコストが発生しています。

このうち、中央地区学校給食共同調理場が約2,700万円と最も高く、全体の約26%を占めています。また、年間で約139万5千食を提供しており、このうち中央地区学校給食共同調理場が約32万1千食と最も多く、全体の約23%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	給食 提供数 (食)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
中央地区第2学校給食共同調理場	547	1993(H5)	第一中	240,790	9,324	5,650
中央地区学校給食共同調理場	881	2010(H22)	第二中	321,231	12,238	15,240
西部地区学校給食共同調理場	553	1992(H4)	第三中	176,194	6,741	6,712
枇杷島地区学校給食共同調理場	610	2009(H21)	鏡が沖中	244,708	6,485	9,159
北部地区学校給食共同調理場	465	1995(H7)	瑞穂中	235,326	9,129	6,035
南部地区学校給食共同調理場	295	1991(H3)	南中	84,975	3,760	2,490
鯖石地区学校給食共同調理場	293	1992(H4)	第五中	30,817	1,780	2,725
北条地区学校給食共同調理場	306	1998(H10)	北条中	41,258	3,113	3,080
高柳地区学校給食共同調理場	156	1973(S48)	高柳中	19,825	1,130	2,794
計	4,106			1,395,124	53,700	53,885

【利用度とコスト効率の分析】



【分析結果】

給食提供数の全体平均は、758 食/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は 11,133 千円/年となっています。

このうち、給食提供数が平均より多くコストが平均より低くなっているものはありません。また、給食提供数が平均より少ないにもかかわらずコストが平均より高くなっているものもありません。

6 子育て支援施設

(1) 保育園

保育園は 19 園あり、最も古い上条保育園は昭和 46 年に、最も新しい北鯖石保育園は平成 24 年に建築しました。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約 1 億 8,200 万円のコストが発生しています。このうち、にしやま保育園が 5,200 万円と最も高く、全体の約 28%を占めています。

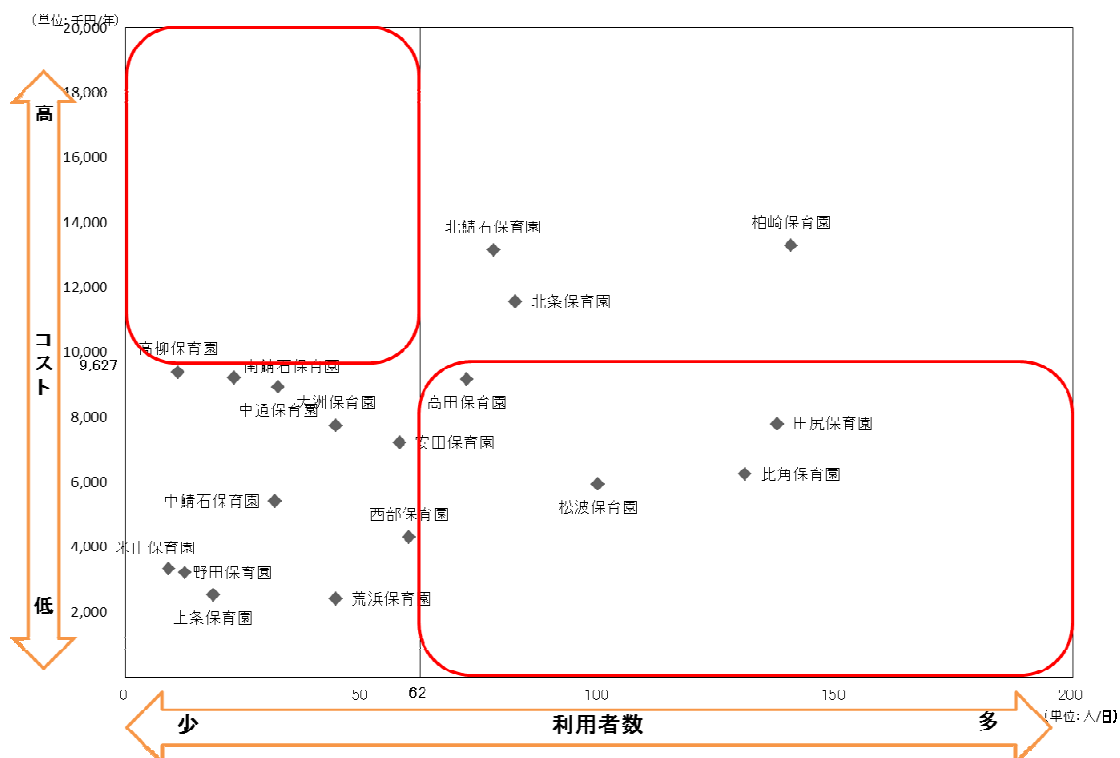
また、年間で 34 万 7 千人が利用しており、このうち柏崎保育園が 4 万 1 千人と最も多く、全体の約 12%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
柏崎保育園	1,287	1981(S56)	第一中	41,166	6,047	7,239
比角保育園	698	1983(S58)	第二中	38,295	5,218	1,021
大洲保育園	484	1992(H4)	第三中	12,980	3,002	4,739
西部保育園	462	1987(S62)	第三中	17,521	3,409	888
米山保育園	495	1980(S55)	第三中	2,637	2,637	684
中通保育園	439	1997(H9)	瑞穂中	9,405	2,972	5,961
松波保育園	846	1978(S53)	松浜中	29,183	4,392	1,552
荒浜保育園	379	1984(S59)	松浜中	13,009	2,267	138
高田保育園	435	1996(H8)	南中	21,096	3,627	5,539
野田保育園	302	1974(S49)	南中	3,633	2,272	946
上条保育園	210	1971(S46)	南中	5,391	1,981	540
田尻保育園	710	1979(S54)	東中	40,288	5,279	2,522
安田保育園	429	1996(H8)	東中	16,935	3,077	4,149
北鯖石保育園	646	2012(H24)	東中	22,737	4,213	8,926
中鯖石保育園	538	1974(S49)	第五中	9,230	3,282	2,126
南鯖石保育園	447	1998(H10)	第五中	6,680	3,007	6,199
北条保育園	695	2002(H14)	北条中	24,085	4,383	7,179
高柳保育園	457	2003(H15)	高柳中	3,223	3,436	5,954
にしやま保育園	1,461	2003(H15)	西山中	29,798	8,672	43,432
計	11,420			347,292	73,173	109,734

※利用者数は、園児数に登園した日数を掛けた数です。

【利用度とコスト効率の分析】



※「にしやま保育園」(1日あたり利用者102人、1年あたりコスト52,104千円)については、他の保育園とグラフ上の位置が離れるため、記載を行っておりません。

【分析結果】

利用者数の全体平均は、62人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は9,627千円/年となっています。

このうち、利用者数が多くコストが低くなっているのは、比角保育園・松波保育園・高田保育園・田尻保育園です。

一方、利用者数が少ないにもかかわらずコストが高くなっている保育園はありません。

(2) 児童施設

①児童クラブ（館）

生計その他の事情により保護者等が不在の家庭及びこれに準ずる家庭の小学校低学年児童等の健全な育成を図るための施設は、平成 25 年度から米山児童クラブが加わって 20 箇所ありますが、そのうち市が所有している施設は 4 箇所あります。最も古い柏崎児童クラブは昭和 48 年に、最も新しいにしやま児童館は平成 15 年に建築しました。

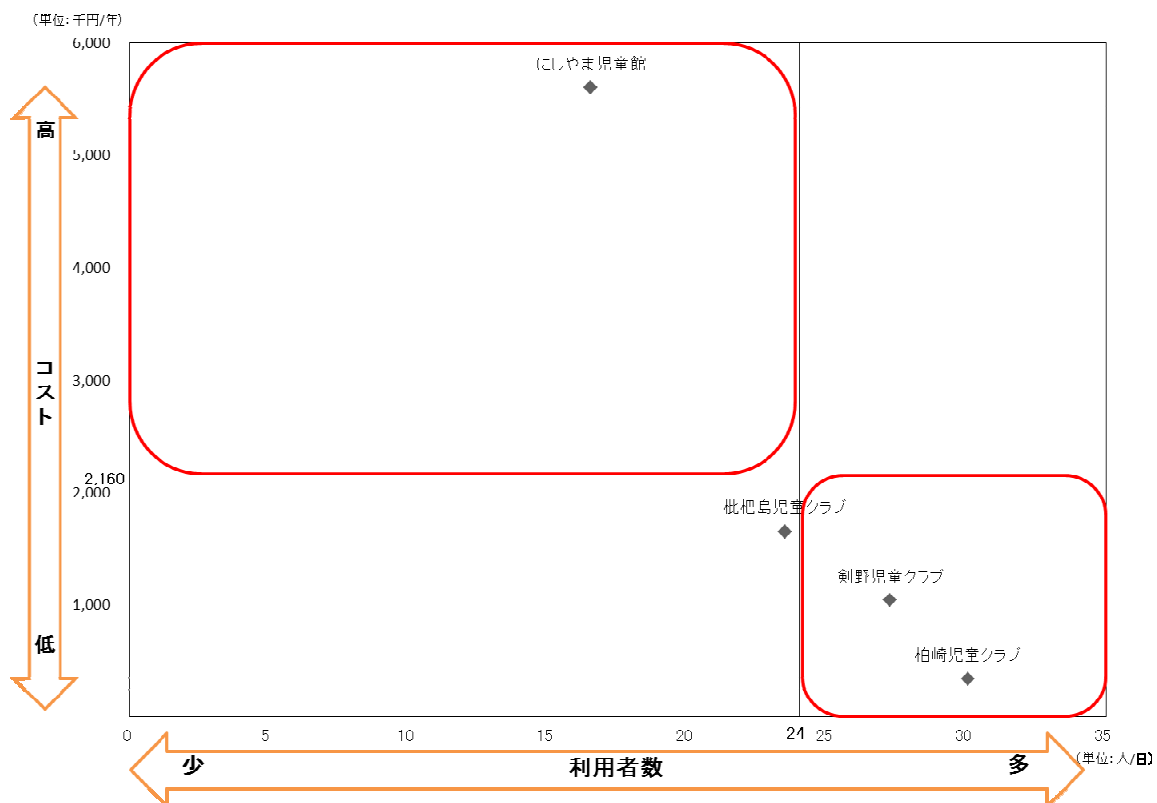
なお、柏崎児童クラブは、平成 13 年度に実施した柏崎小学校の大規模改修工事に合わせて余裕教室を転用したものです。

維持管理費と減価償却費を合わせると年間で約 860 万円のコストが発生しています。このうち、にしやま児童館が約 560 万円と最も高く、全体の約 65%を占めています。また、年間で約 2 万 7 千人が利用しており、このうち柏崎児童クラブが約 8,500 人と最も多く、全体の約 31%を占めています。

【基本情報】

名称	面積 (㎡)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
柏崎児童クラブ	187	1973(S48)	第一中	8,499	86	258
剣野児童クラブ	129	1999(H11)	第三中	7,959	165	874
枇杷島児童クラブ	147	2011(H23)	鏡が沖中	6,787	303	1,350
にしやま児童館	357	2003(H15)	西山中	4,332	354	5,251
計	820			27,577	908	7,733

【利用度とコスト効率の分析】



【分析結果】

利用者数の全体平均は、24 人/日、維持管理費と減価償却費を合わせたコストの全体平均は 2,160 千円/年となっています。

このうち、利用者数が多くコストが低くなっているのは柏崎児童クラブ・剣野児童クラブです。

一方、利用者数が少ないにもかかわらずコストが高くなっているのはにしま児童館です。

②その他児童施設

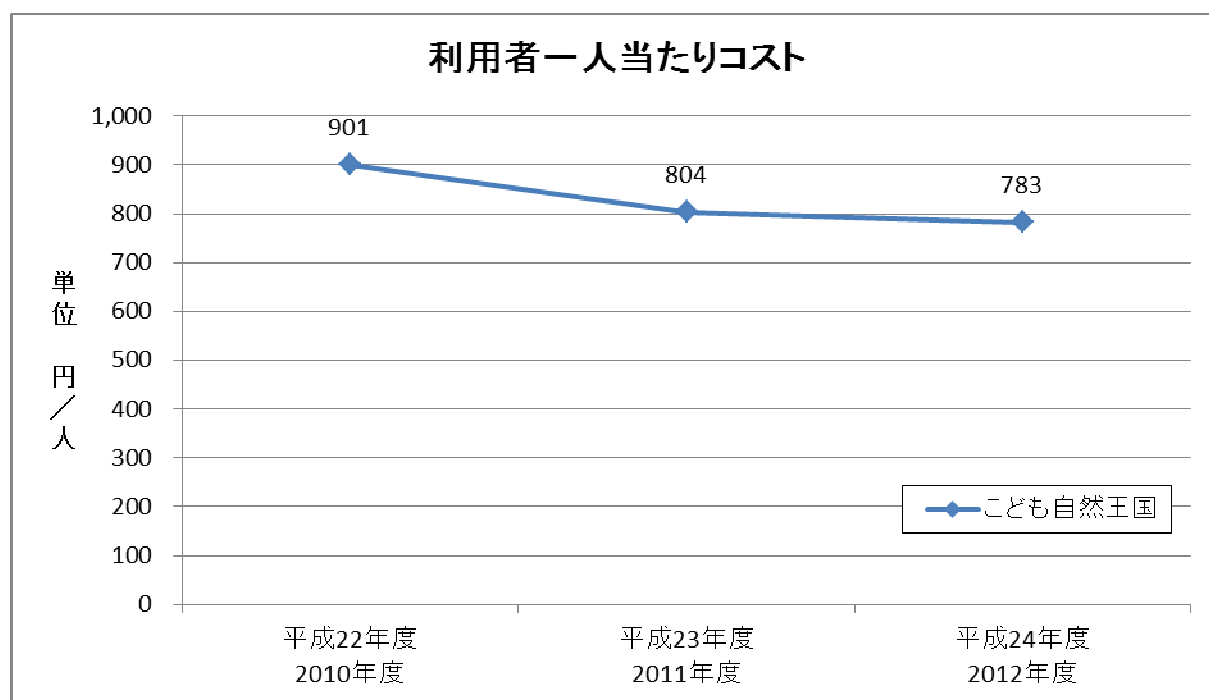
こども自然王国は、県内外の児童・親子が豊かな自然の中で交流を深め、児童の健全な育成と魅力ある地域社会の形成を図るための施設です。

年間で約7万5千人が利用しています。

【基本情報】

名称	面積 (m ²)	竣工年	地区	利用者数 (人)	維持 管理費 (千円)	減価 償却費 (千円)
こども自然王国 園	508	1995(H7)	高柳中	75,542	58,311	378

【利用者一人当たりコストの推移】



【分析結果】

年間の利用者数は平成22年度が68,587人であったのに対し、平成23年度が75,784人、平成24年度は若干減少して75,542人となりましたが、利用客は安定しています。一方、利用者一人当たりコストは平成22年度が901円/人であったのに対し、平成23年度は804円/人、平成24年度は783円/人となっており、減少傾向にあります。